

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 株式会社 データ・アプリケーション

上場取引所 東

コード番号 3848 URL <https://www.dal.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 橋本 慶太

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員CFO (氏名) 長井 定一

TEL 03-5640-8540

四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	1,382	0.4	249	△22.6	254	△22.1	167	△20.6
25年3月期第3四半期	1,376	11.1	322	27.7	326	26.6	211	26.6

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 170百万円 (△18.3%) 25年3月期第3四半期 208百万円 (27.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	52.57	50.97
25年3月期第3四半期	66.87	65.44

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	2,324		1,909			82.2
25年3月期	2,290		1,779			77.7

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 1,909百万円 25年3月期 1,779百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3,200.00	3,200.00
26年3月期	—	0.00	—		
26年3月期(予想)				16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。平成25年3月期の期末配当金につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。また、平成26年3月期(予想)の期末配当金につきましては、当該株式分割を考慮した額を記載しております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,976	3.8	433	△6.7	434	△7.3	303	△5.6	95.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。これに伴い、平成26年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割を考慮した額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、[添付資料]P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	3,556,400 株	25年3月期	3,525,800 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	344,000 株	25年3月期	344,000 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	3,191,109 株	25年3月期3Q	3,159,913 株
----------	-------------	----------	-------------

(注)当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日銀の金融緩和策や政府の財政政策の効果等もあり、設備投資の持ち直しや雇用情勢の改善等、回復基調にありました。また、海外経済も、欧州の債務問題の帰趨や新興国で弱めの動きがみられる等の懸念がある一方、米国をはじめとした先進国を中心に回復しつつありました。

情報サービス産業においては、システムの災害対応強化の動向や、IT投資内容の精査、選別の動向等により、産業総売上高、ビジネス向けソフトウェア売上高ともに、前年同四半期に対し微増の傾向にあります。

この経営環境下、当第3四半期連結累計期間は、当社製品の主要適用分野であるEDI関連業務での問題解決力の強化及び製品やサービスの応用可能な市場への提案力の強化等、販売力の強化に努めてまいりました。

他方、研究開発面では、既存ソフトウェア製品の機能強化を実施するとともに、第2四半期末に販売を開始した『ACMS WebFramer』をはじめ、今後の企業成長を担う新製品に対して積極的な投資を行ってまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,382百万円（前年同四半期比0.4%増）、売上総利益は1,109百万円（前年同四半期比1.3%増）、売上総利益率は80.2%となりました。

また、企業成長を企図した新製品関連の研究開発投資や販促費の投入が前年同四半期に比して73百万円増加したこと等により、販売費及び一般管理費が859百万円となり、営業利益は249百万円（前年同四半期比22.6%減）、経常利益は254百万円（前年同四半期比22.1%減）となり、税金等調整後の当第3四半期連結累計期間における四半期純利益は167百万円（前年同四半期比20.6%減）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間で当社のサーバー系ソフトウェア製品は新たに327本を出荷し、累計出荷実績は7,004本に至っております。

当社グループの事業は、データ交換系ミドルウェア等の企業の業務プロセスを支える基盤型ソフトウェア製品等の開発・販売・保守及びこれらソフトウェア製品の導入や運用を支援するサービス等の提供を行う単一セグメントのソフトウェア関連事業であります。なお、売上区分別の状況は次のとおりであります。

①ソフトウェア売上

ソフトウェア売上におきましては、主要適用分野であるEDI関連業務での問題解決力の強化及び応用可能な市場への提案力の強化等、売上の拡大に努めてまいりましたが、前年同期の売上に大きく貢献した東日本大震災に起因する災害対策関連需要が収束傾向となったこと等により、ソフトウェア売上高は587百万円（前年同四半期比3.5%減）となりました。

②メンテナンス売上

メンテナンス売上は、当社ソフトウェア製品の導入にあたり保守契約を締結し、毎年一定の保守料金をいただき、製品に関するサポートサービスを提供しております。従いまして、このメンテナンス売上は累計導入企業数の増加とともに、安定的な収益基盤となっております。

メンテナンス売上高は、継続した保守契約の推進活動の実施の一方、旧製品のサポートサービス終了の影響等により、699百万円（前年同四半期比1.4%減）となりました。

③サービス売上その他

サービス売上は、ソフトウェア製品販売に付帯するサービスの提供に加え、オープンソースソフトウェアに対するソリューションサービス等を積極展開しており、このオープンソースソリューションサービス等による売上が56百万円と大きく寄与したこと等により、サービス売上高は90百万円（前年同四半期比92.6%増）となりました。

その他売上として、ソフトウェア製品販売に付帯する通信機器の販売等があります。当該売上高は5百万円（前年同四半期比52.4%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態の分析は、以下のとおりであります。

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の資産の残高は、前連結会計年度末に比べ33百万円増加して2,324百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加106百万円、売掛金の減少74百万円によるものです。

（負債）

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ97百万円減少して414百万円となりました。これは、買掛金の減少8百万円、未払法人税等の減少69百万円、前受金の増加33百万円、賞与引当金及び役員賞与引当金の増加47百万円、その他流動負債の減少98百万円によるものです。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ130百万円増加して1,909百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加116百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は概ね前年同期並みとなったものの、利益面では企業成長を企図した新製品関連の研究開発投資や販促費の投入を行ったこと等により、前年同期を下回る水準となっております。第4四半期以降も引続き、顧客ニーズの充足及び付加価値の拡大に向けた施策、活動を強化、推進するとともに、新製品『ACMS WebFramer』の本格的な販売活動を実施してまいります。従いまして、現時点におきましては、平成25年5月10日に公表いたしました業績予想値に変更はありません。

なお、業績予想はリスクや不確実性を含んでおり、そのため様々な要因の変化によって予想値と異なる結果になる可能性があります。第4四半期以降におきましては、以下のような事業上のリスクが考えられます。また、下記項目以外の事業等のリスクにつきましては、当社が公表した有価証券報告書の「事業等のリスク」をご確認願います。

また、業績に影響を与える要因は、「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではありません。

① 間接販売（パートナーモデル）への依存について

当社グループの製品及び保守サービスは、主に、システムインテグレーター等のパートナー（販売代理店等）との協業によって販売されており、間接販売による売上が大部分を占めております。従いまして、販売パートナーの営業活動状況は、当社グループの業績に影響を与える可能性があります。

② 財政状態及び経営成績の変動に関わるものについて

当社グループを含めたパッケージソフトウェア販売の特徴として、人件費等の固定費水準が高く、変動費比率が低いことが挙げられます。そのため、売上高が増加した場合の増益額が他の販売形態に比べ大きい一方、売上高が減少した場合の減益額も他の販売形態に比して大きく、利益の変動額が大きい傾向にあります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,694,570	1,800,591
売掛金	253,693	179,640
仕掛品	—	248
その他	60,784	62,634
流動資産合計	2,009,047	2,043,115
固定資産		
有形固定資産	19,131	16,198
無形固定資産	7,070	6,620
投資その他の資産	255,608	258,294
固定資産合計	281,811	281,113
資産合計	2,290,859	2,324,229
負債の部		
流動負債		
買掛金	32,221	23,318
未払法人税等	87,947	18,080
前受金	220,372	253,621
賞与引当金	—	33,511
役員賞与引当金	—	13,702
その他	170,959	72,232
流動負債合計	511,501	414,466
負債合計	511,501	414,466
純資産の部		
株主資本		
資本金	398,279	403,787
資本剰余金	308,279	313,787
利益剰余金	1,200,465	1,317,317
自己株式	△125,536	△125,536
株主資本合計	1,781,487	1,909,354
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,128	407
その他の包括利益累計額合計	△2,128	407
純資産合計	1,779,358	1,909,762
負債純資産合計	2,290,859	2,324,229

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	1,376,848	1,382,880
売上原価	281,896	273,185
売上総利益	1,094,952	1,109,695
販売費及び一般管理費	772,062	859,700
営業利益	322,889	249,995
営業外収益		
受取利息	174	1,424
受取配当金	736	1,215
助成金収入	1,724	450
受取手数料	750	750
その他	624	684
営業外収益合計	4,009	4,524
営業外費用	2	29
経常利益	326,896	254,490
税金等調整前四半期純利益	326,896	254,490
法人税等	115,581	86,730
少数株主損益調整前四半期純利益	211,314	167,760
四半期純利益	211,314	167,760

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	211,314	167,760
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,984	2,536
その他の包括利益合計	△2,984	2,536
四半期包括利益	208,330	170,297
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	208,330	170,297
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

当社グループは、ソフトウェア関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。